

三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成26年5月20日

三重県アセアンビジネスサポートデスク
株式会社野村総合研究所（NRI）

[ベトナム]

ベトナムにおける対中暴動の状況

ベトナムにおける対中暴動は、南シナ海での中国による石油掘削作業をめぐる、西沙（英語名パラセル）諸島付近でベトナムと中国の艦船の衝突が相次いだことをきっかけに5/10頃から暴動が発生した。

南部のビンズオン省では、日系企業への被害も出るなど、中国企業を中心に大きな被害にはなっているが、既に、暴動は落ち着きつつある。現在、現地では詳細な被害状況の把握作業を行っている。

なお、ベトナム政府側から日本側へは、補償も含めた相談がされている。

****補足(詳細)*****

・5/10(土)、11(月)はホーチミン市内において、また12(月)、13(火)にはビンズオン省等にも広がりを見せた。特に、ビンズオン省(日系企業も入居しているベトナム・シンガポール工業団地(VSIP)など)などで発生した13日のデモでは、デモ隊の一部が暴徒化し、中国企業だけではなく、近隣の日系企業の工場敷地内にゲートを破壊して侵入し、窓ガラスを割ったり、室外機を破壊、さらに、工場周辺を暴徒に取り囲まれ、脱出が困難になるなどの状況となって、マスコミなどにもおおくとりあげられた。

・在越日本国大使館に、5/16 付けの注意喚起で各地での状況が、報告されている。ホーチミン等南部だけでなく、ハノイでも集会は行われた。

http://www.vn.emb-japan.go.jp/jp/medical%20security/jp_hanchyudemo%20sono%20%2020140514.html

・5/16 の時点で、ほぼ事態は沈静化し、在ホーチミン日本国総領事館のホームページにも、5/16(金)13時現在、ホーチミン市公安局から、「ホーチミン市内におけるデモ活動は把握されていない。」「ビンズオン省及びドンナイ省においては、残留していたデモ隊数十名のほとんどは解散し、ほぼ沈静化した。」との情報も開示された。ただ、状況の変化はいつ起こるかわからないので引き続き注意を促している。

http://www.hcmcgj.vn.emb-japan.go.jp/2014/may/20140515_demo_chui_kanki_3.html

・本暴動に対して、ベトナム政府側から日本政府側への補償等も含めた対応に関する相談もあり、日本側では具体的な被害状況を把握している。

在ホーチミン日本国総領事館では、以下の文書を提示し、被害実態調査を実施。

http://www.hcmcgj.vn.emb-japan.go.jp/2014/may/20140516_demo_higai_joukyou_chosa.html

・ベトナム日本商工会議所では、トップページに計画投資省からベトナム日本商工会議所宛てのレターを掲載している。

http://jbav.vn/web/Official%20letter%20from%20MPI_JPN.pdf